

陳情第9号

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会(NITCA)と長崎市の関係性におけるガバナンスおよび運営構造に関する問題点の指摘と改善を求める陳情書

目 次

(資料頁)

陳情書の要旨

第1節 ガバナンスの欠如:一体化した人事構造と利益相反	2
第2節 資金の流れ:公費への全面的な依存と不透明なブラックボックス ..	2
第3節 市の戦略、協会の事業:行政の下請けと化した運営実態	2
第4節 結論と改善に向けた要請	3

文 化 観 光 部

令 和 7 年 9 月

陳情書に係る論点整理

陳情書の要旨

第1節 ガバナンスの欠如：一体化した人事構造と利益相反

- (1) 長崎市文化観光部長が（一社）長崎県観光連盟の監事に就任していることは、資金の拠出者が資金の使途を監査するという構造で、監督機能が無力化されている。
- (2) 市、県、（一社）長崎国際観光コンベンション協会（以下「NITCA」という。）、観光関連企業等が相互に連携した閉鎖的ネットワークを形成し、外部からの新規参入を阻害し、公正な競争を損なっている。

第2節 資金の流れ：公費への全面的な依存と不透明なブラックボックス

- (1) 「長崎ランタンフェスティバル」の収支決算書によれば、市から約9,700万円の資金が負担金としてNITCAに交付され、自由な裁量で業者選定や支払いを行うことが可能となる。

第3節 市の戦略、協会の事業:行政の下請けと化した運営実態

- (1) 市の戦略が「何をすべきか」を定義し、NITCAは「それをどう実行するか」を具体化するという市の実行機関であり、市が本来担うべき業務を丸投げしている。
- (2) 市は、大規模な戦略的事業を競争入札ではなく、NITCAに随意契約している。市は、会計規則や透明性確保の義務を回避するため、意図的な手法としてNITCAを介在させている。

陳情書に係る論点整理

陳情書の要旨

第4節 結論と改善に向けた要請

1 ガバナンスの根本的改善

- (1) 長崎市文化観光部長を長崎県観光連盟の「監事」からの辞任させること。
- (2) NITCA 等役員に厳格な利益相反ポリシーを策定し、遵守させること。

2 財務・透明性の飛躍的向上

- (1) 市はNITCAに支出する負担金・補助金の使途（契約事業者・金額・選定方法等）を詳細に記載した報告書の提出及び公開を交付条件にすること。
- (2) 市は「長崎市サステナブルツーリズム」及び「長崎市国内観光誘客プロモーション」関連事業の全ての契約書、仕様書、合意文書、契約金額等を全面的に公開すること。

3 運営プロセスの改革

- (1) 市がNITCAに委託する全ての戦略的事業（年間100万円を超えるもの）は原則公募型競争入札にかけること。

4 財政的自立の促進

- (1) NITCA に自己収益比率の向上に関する KPI を設定・公表させ、公費依存体質からの脱却を促すこと。